

HOME > STYLE > 1枚の古着が子どもたちの笑顔につながる。楽しく参加できるサステナ活動

STYLE | 2021.01.09

## 1枚の古着が子どもたちの笑顔につながる。楽しく参加できるサステナ活動

多田亜矢子



今回の「Editor's Pick」は、SDGs 目標達成に向けて何かしたい、でも具体的に何をしたらいいのやら……、という人にこそお薦めしたい、楽しく気軽に参加できるサステナブルな取り組みについて。

### ワードローブの整理が、世界を笑顔に導く「古着de ワクチン」

手持ちの衣類や服飾雑貨によって社会貢献活動に参加できるのが「古着 de ワクチン」。わたしたちがするのは、ウェブサイト専用回収キットを購入し、届いた袋に古着を詰めて返送することだけ。



「古着 de ワクチン」の専用回収キット 3,300 円（税込）。160 サイズのダンボール箱とほぼ同サイズで、シャツ類なら約 100 枚入る。専用回収キットは障がい者を雇用する国内の福祉作業所にて製造・封入・発送がおこなわれている。

専用回収キットひとつ分の購入金額から、5人分のポリオワクチンが開発途上国の子どもたちに寄付されるほか、回収衣料はインドなどへ送られて約170種の仕分け作業がなされ、その後、東南アジアやモンゴル、パキスタンなどへ送られ、現地で安価で再販売されます。



認定 NPO 法人「世界の子どもにワクチンを日本委員会」を通し、ミャンマーやラオス、ブータン、バヌアツヘワクチンが寄付される。

古着の再利用になるのはもちろん、寄付ではなく再販売とすることで、仕分け作業や販売店舗が必要となり、現地にビジネスを生み、雇用を促進できるのです。



回収した古着が選別される様子。古着 de ワクチンでは、今後、カンボジアやモンゴルに直営店舗をオープン予定。ポリオの後遺症を抱える人や、障がい者、貧困層を直接雇用し、自立していける仕組みを作るのだそう。さらに直営店舗の販売1点につき、1人分のワクチンを寄付するなど、支援される側だった人が支援する側に回れるようにもしていくとのこと。

回収した古着がどのように扱われているのか、ワクチンはどのように届けられているのかなどがウェブサイトで活動報告レポートとして公開されていて、その活動の透明性が、衣類を手放す立場にとってありがたく感じられます。

また、スポーツのユニフォームや会社の制服、名前やロゴが入っているものが回収対象であるのもうれしい点。衣替えの時期などに、ぜひ利用の検討を。